



2016年4月27日

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A
 Treasury Department
 Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
 São Paulo, SP – 01310-925

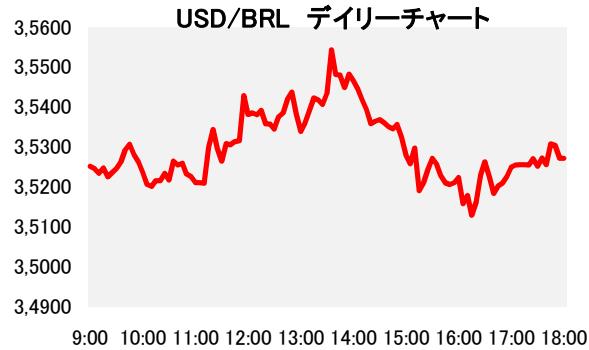
1. マーケット・レート

			4月20日	4月22日	4月25日	4月26日	4月27日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,5290	3,5660	3,5580	3,5290	3,5270	-0,0020
	BRL/JPY	Spot	31,12	31,34	31,29	31,55	31,61	+0,06
	EUR/USD	Spot	1,1298	1,1227	1,1264	1,1300	1,1322	+0,0022
	USD/JPY	Spot	109,84	111,78	111,21	111,32	111,45	+0,13
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	13,683 13,159	13,789 13,198	13,756 13,115	13,785 13,215	13,755 13,161	-0,031 -0,053
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2,385 2,660	2,511 2,691	2,639 2,743	2,587 2,650	2,363 2,491	-0,224 -0,159
株式	Bovespa指数		53.631	52.908	51.887	53.083	54.478	1.395
CDS	CDS Brazil 5y		336,07	359,76	360,35	348,74	337,28	-11,46
商品	CRB指数		181,436	179,654	180,221	181,483	182,489	+1,01

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.65%	0.60%	0.75%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	-4.1%	1.3%
(米)前渡商品貿易収支	-\$62.8b	-\$56.9b	-\$63.4b
(米)中古住宅販売仮契約(前月比)	0.5%	1.4%	3.4%
(米)中古住宅販売仮契約(前年比)	0.8%	2.9%	5.0%
(米)FOMC政策金利(上限)	0.50%	0.50%	0.50%
(米)FOMC政策金利(下限)	0.25%	0.25%	0.25%



3. 要人コメント

ネベス伯上院議員	PSDBはテメル政権に協力するが入閣する必要はない。
----------	----------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.5210で寄り付いた後、米FOMCを控えて3.5200と3.5400の間で小幅に推移した後、正午過ぎにレアルは本日の安値となる3.5540を付けた。米FOMCが発表され、定例会合後の声明でフェデラルファンド金利誘導目標のレンジを0.25–0.5%で据え置くと発表したほか、6月利上げの可能性を残したことからエマージング通貨は対ドルで上昇、レアルは本日の高値となる3.5130まで買い戻された後、結局3.5270でクローズした。
- 朝方発表された米週間石油統計で原油在庫が増加したことが嫌気され、WTI先物は一時下落した。しかし外国為替市場でドルがユーロなどに対して下落した結果、ドル建てで取引される原油先物に割安感が出たことから買い注文が加速、WTI原油先物は結局前日比で上昇、1バレル45.33ドルと約5カ月半振りの高値水準で取引を終えた。
- ボベスパ株価指数は原油価格の上昇やブラジルでのテメル新政権に対する期待感から買い進まれ、前日比2.5%以上上昇した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に応対することを意図していません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図していません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいます。宜しくお願い申上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。